

医療的ケア児・者等

誰も取り残さない

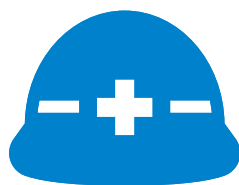
つながりづくりを?

学習会・啓発
イベントの開催



災福ネット／県自動車販売店協会
／医療機器メーカー

当事者との
防災訓練



医療・福祉避難所の
モデル設置

啓発ツール作成
PR チーム作成



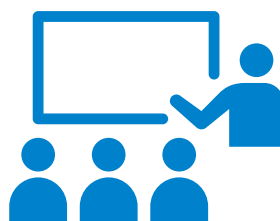
当事者やコーディネーターの
ヒアリングより

親の会の
活動支援



助け合いの
仕組みづくりの推進

支援を考える
フォーラムの開催



平常時や災害時の
支援を考える



医療的ケア児・者をはじめとする災害時要援護者が、災害時にも取り残されないよう、地域のつながりづくりと多機関連携に取り組み、共生の地域づくりを目指します。

給電ボランティア（EV・ハイブリッドカー等）の切り口から、

企業の協力やSDGs 学習とのつながりも意識しながら、

幅広い県民の医療的ケア児・者への理解と関わりを促進します。

様々な障がいのある人たちの医療・福祉避難所のモデルづくりを行い、

実効性のある個別避難計画づくりを促進し、誰も取り残さない安心の地域づくりを目指します。



「医療的ケア児・者」のことを知ろう!

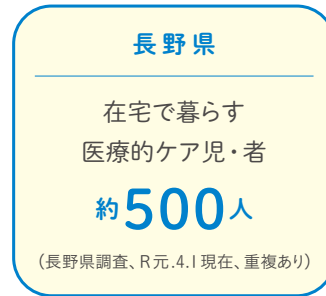
災害時の避難行動や停電時を伴う避難生活において、支援が必要となる「医療的ケア児・者」について知っていますか？
保育園や幼稚園、学校、福祉施設、地域の居場所、など平常時から「医療的ケア児・者」が安心して生活できる地域・
インクルーシブな社会にむけて、理解を深めましょう。

「医療的ケア児・者」とは？

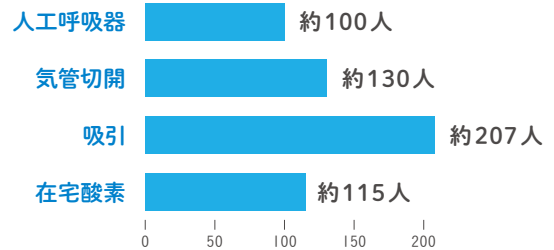
人工呼吸器による呼吸管理や、経管栄養、たんの吸引、導尿など、医療的ケアを日常的に必要とする子どもたちのことを「医療的ケア児」といいます。

長野県では、医療的ケアが日常的に必要ではなくても、重症心身障がいがあるお子さん、18歳以上の「児」ではなくなった方等も支援の視野に入れていきます。

(長野県ホームページより)



現時点では1,000人程度以上
とされています。



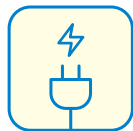
医療的ケア児・者の 日常生活と様々な工夫



機器が必要です



マニュアルは
必ず見える場所へ



電源の
確保が必要です



連絡先は
必ずスマホや
財布にいます



外出には
多くの機器や荷物が
必要になります



駐車場は
車椅子スペースを
使用します



家族・当事者の みなさんの声

令和元年に被災、
混乱する小学校の避難所では
避難生活を送ることが
できませんでした

停電が不安です。
温度湿度の変化にも適応しづらく、
電源が確保できなければ
命の危機に陥ります

医療機器のため必要な電源数が5つ、
自助努力だけでは
不足してしまいます

普段から施設職員や
近隣の方が助けて下さっており、
災害時の話し合いをはじめました

体験や交流を通して学ぼう!

給電車（EV・ハイブリットカー等）の体験会を地域で! 楽しく理解を深めませんか?

子どもから大人まで気軽に参加できる防災福祉体験会、それが給電車（EV・ハイブリットカー等）体験会です。地域で話し合い、できることからはじめてみませんか?

長野市更北地区 「誰も取り残さない防災を考える日」

主催 更北地区住民自治協議会 | R4.11.3

医療機器の展示で、 機器の役割や仕組みを知る機会に

清泉女学院大学の医療ケア人形や医療機器の展示などは、来場者が人工呼吸器の役割や仕組みを知る機会になりました。



千曲市稲荷山地区 「重症児等とその家族に対する支援活動応援」(はれるや緑日)

主催 児童養護施設 恵愛 | R4.7.9

防災を通して給電車（EV・ハイブリットカー等） による電力供給を学ぶ

給電車（EV・ハイブリットカー等）による給電のデモンストレーションや地域のハザードマップを確認することから、防災についての意識を高める機会となりました。



長野県社会福祉協議会では、医療的ケア児・者と給電ボランティア(EV・ハイブリットカー等)のマッチングを推進しています。

まずは給電車(EV・ハイブリットカー等)の 体験会を開いて理解を深めませんか

「いざ」というときのために給電車(EV・ハイブリットカー等)の電源の使い方を学びましょう

給電車(EV・ハイブリットカー等)があっても、使い方が分からないと困ります。実際に見てみることで理解を深める機会をつくりませんか。医療的ケア児・者の暮らしと給電車(EV・ハイブリットカー等)への期待についても学びます。



社協・ボランティアセンター、コーディネーターの皆様へ

1 知ってもらう学びの場づくりからはじめましょう。

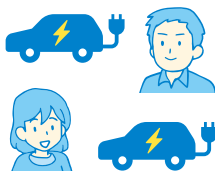
医療的ケア児・者が **ここにいる** ことを地域が知り、**力を貸して** と普通に発信できる
そして、このことをきっかけに **普段から継続的に** つながっている地域
地域でできることから積み重ね、維持することにより、突然災害が起こっても安心して対応することができます。

【つなぐ】をやってみませんか！

ボランティアをはじめたいと思うきっかけは人それぞれです。
自分の関心のあるテーマ、自分にできることからはじめられる身近な活動です。

2 給電ボランティア（EV・ハイブリットカー等）とのマッチングに取り組みましょう。

ボランティア募集



- ✓ 医療的ケア児・者の理解者として
- ✓ 地域防災ボランティアとして
- ✓ 緊急時の電源供給の可能性

< 地域のつながりづくり >

給電ボランティア（EV・ハイブリットカー等）、
支援関係者、民生委員、地区役員、
ママ友、ご近所さん等

ボランティアセンターの 力を活かした マッチング支援

顔合わせ
つながりづくり
ご近所訓練

医療的ケア児・者

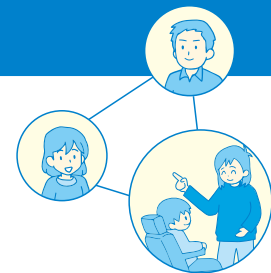


- ✓ 地域の理解者を広げる
- ✓ 緊急時に備える
自助+給電ボランティア

3 防災と福祉の地域づくりに取り組みましょう。

○ 期待されること (広がっていること)

- 誰も取り残さない防災を地域で考えよう
- 新しいボランティア層の参加促進
- 企業とのつながりづくり
- 個別避難計画づくり
- 福祉避難所



長野県医療的ケア児等の相談窓口

長野県医療的ケア児等支援センター

医療的ケア児等支援について、
あらゆる相談に応じます

医療的ケア児等支援センター専用電話

TEL: 026-235-7185 (平日8:30 ~ 17:15)
E-mail: ikea-soudan@pref.nagano.lg.jp

平常時や緊急時のつながりづくりをお手伝い

長野県社会福祉協議会 まちづくりボランティアセンター

「平常時からのつながり」の大切さ！
知ることと一緒に広げてみませんか！

医療的ケア児・者等誰も取り残さない
つながりづくり事業

TEL: 026-226-1882
E-mail: vcenter@nsyakyu.or.jp

